

# 鯖江駅東口等整備基本計画

【詳細版】

令和4年8月

鯖江市

## 目 次

<b>1. 基本計画策定の背景</b> .....	1
<b>2. 鯖江駅周辺の現状</b> .....	2
(1) 鯖江駅の現状 .....	2
(2) 駐車場の現状 .....	3
(3) 一般送迎車の現状 .....	4
(4) バス・タクシーの現状 .....	5
<b>3. 鯖江駅周辺の課題</b> .....	6
<b>4. 整備の基本方針</b> .....	7
(1) 鯖江市が目指す将来像 .....	7
(2) 駅周辺のまちづくり方針 .....	7
(3) 整備コンセプト .....	8
<b>5. 駅周辺整備計画</b> .....	9
(1) 整備項目と基本的な整備方針 .....	9
(2) 全体整備計画図 .....	10
(3) 自由通路（東口改札） .....	11
(4) 東口複合施設 .....	12
(5) 西口既存駅舎 .....	13
(6) 東口広場 .....	14
(7) 西口広場 .....	15
<b>6. 整備後の東口駐車場の対応</b> .....	16
<b>7. 駅周辺整備で期待される効果</b> .....	17
<b>8. まちづくりの将来展望</b> .....	18
<b>9. 計画の推進に向けて</b> .....	18
<b>10. 整備スケジュール</b> .....	18



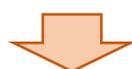
## 1. 基本計画策定の背景

令和6年春には、北陸新幹線福井・敦賀開業が予定されています。これにより、JR北陸本線が並行在来線に移管され、鯖江駅に停車する特急列車「しらさぎ」、「サンダーバード」が廃止されることとなります。

現在、鯖江駅を利用している方々は、北陸新幹線開業後、関西・中京方面へは敦賀駅での乗り換えが必要となり、鯖江市民はもとより、観光・ビジネスなど様々な目的で県外から鯖江を訪れる方々の利便性を低下させ、負担増となることから、快適な市民生活や観光、経済活動への影響が危惧されています。

また、JR北陸本線（並行在来線）は、通勤・通学など日常生活において多くの市民の方が利用しており、交通結節点としての機能強化と、更なる利便性の向上が求められています。

さらには、駅を拠点とした観光・産業の情報発信やおもてなしの交流イベント開催など、駅周辺の活性化とにぎわい空間の創出に向けたまちづくりが求められています。



鯖江市では、北陸新幹線開業に向け、幹線交通網の変化に対応するとともに、市民の日常生活や観光・ビジネスで本市を訪れる方々の利便性の向上を図るため、「鯖江市交通ビジョン」を策定（令和2年10月）し、鯖江駅東口改札や駅周辺整備などの対策に取り組むこととしています。

<駅前駐車場から望む鯖江駅>





## 2. 鯖江駅周辺の現状

### (1) 鯖江駅の現状

J R鯖江駅は、線路の西側に駅舎が建設され、改札口が設けられています。1 日の駅の乗車人数は約 2,300 人となっています。

駅舎 1 階にはコンコース、みどりの窓口、待合室、売店、観光案内所のほか、ものづくり産業PRブース（鯖江駅眼鏡）があり、2 階には図書館カフェがあります。

#### 【鯖江駅の概要】

路線	J R北陸本線				
旅客本数（平日）		合計	普通	特急 しらさぎ	特急 サンダーバード
	大阪・米原 方面	56	28	16	12
	福井・金沢 方面	54	26	16	12
駅舎建築年	昭和 50 年				
駅構造/ホーム	鉄筋コンクリート 2 階建/2 面 3 線				
ホーム間の連絡	①北側ホーム連絡橋 ②南側ホームエレベーター連絡橋				
乗車人員（1 日平均）	平成 30 年度 : 2,349 人 令和元年度 : 2,313 人 令和 2 年度 : 1,438 人				
トイレ	2 箇所（改札内バリアフリー対応）				
駅舎内施設	1F : コンコース、みどりの窓口、待合室、売店 鯖江市観光案内所（鯖江駅眼鏡） 2F : 図書館カフェ（えきライブラリーtetote）				

#### <鯖江市観光案内所（鯖江駅眼鏡）>



#### <えきライブラリーtetote>



## (2) 駐車場の現状

鯖江駅周辺の市営駐車場は、西側に 31 台の駐車可能な「駅前駐車場」と東側に 212 台の駐車可能な「駅東第 1～第 3 駐車場」があります。

自転車については、西口、東口それぞれに約 300 台が駐車できる市営駐輪場が整備されています。

### 【駐車場の概要】

施設名	駅前駐車場	駅東第 1 駐車場	駅東第 2 駐車場	駅東第 3 駐車場
駐車台数	31	97	79	36
料金	最初の 1 時間以内は無料 駐車後 1 時間を超えるときは 1 時間ごとに 100 円加算	最初の 24 時間以内は 300 円 駐車後 24 時間を超えるときは 24 時間までごとに 700 円加算		

### < 駅周辺の交通施設の現状 >



### 【駐車場の利用状況 (H28～H30)】

西口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用台数は多いものの、駐車時間は 1 時間未満が約 9 割を占めており、駅への送迎利用や駅周辺施設利用が主体となっています。</li> <li>・1 日の駐車場稼働率は約 68% で平均 21 台の利用に留まっており、駐車台数に 10 台程度の余裕があります。</li> </ul>
東口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅東駐車場（第 1～第 3）の平均駐車時間は 11 時間を超え、主に通勤通学や県外出張、旅行での利用が主体となっています。</li> <li>・1 日の駐車場稼働率は約 90% で平均 184 台利用され、駐車台数に 20 台程度の余裕があります。</li> </ul>

### (3) 一般送迎車の現状

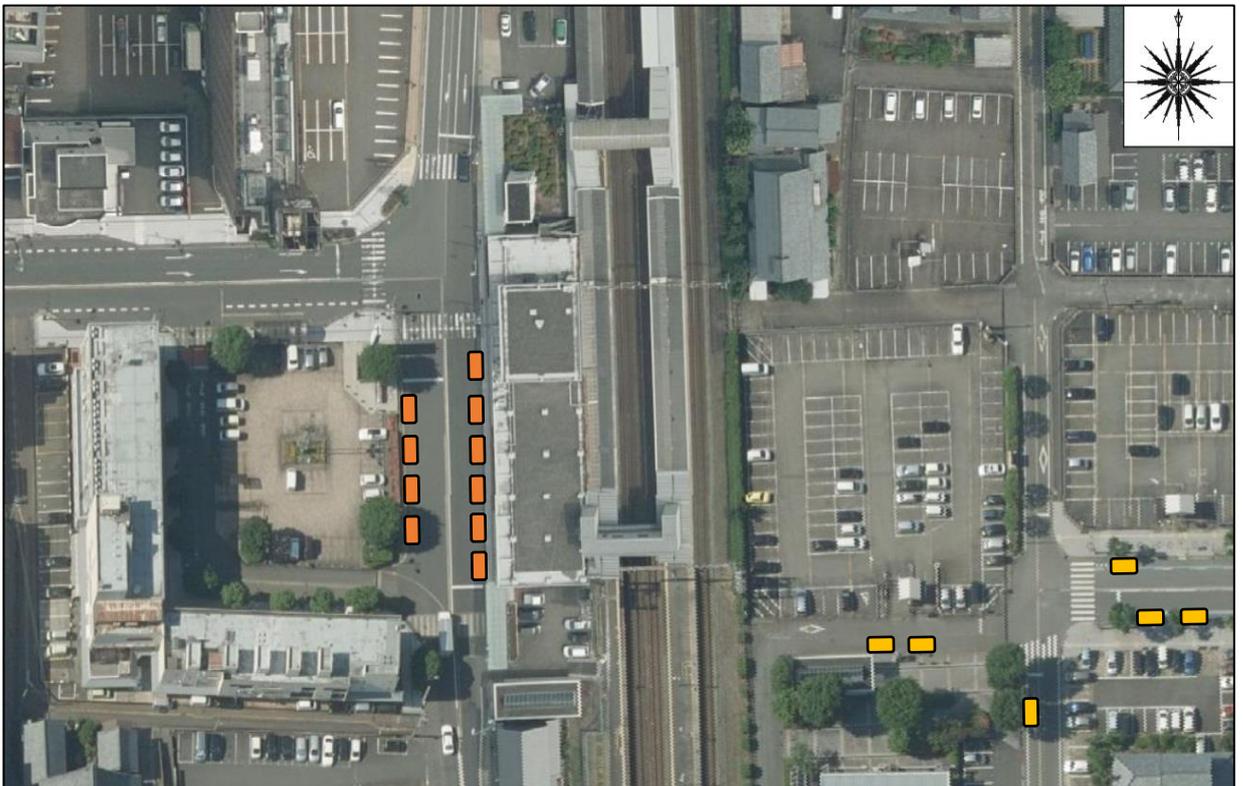
鯖江駅には一般送迎用の乗降場がなく、路上停車による乗降が行われており、交通安全上の問題が生じています。

乗降時の停車時間は駅への送りが1分未満で、迎えでは5分程度となっています。

#### 【送迎の状況】

西口	・送迎車は駅舎前に停車し、列車の発車時間直前に集中するため、2列で停車することもあり、最大10台程度が停車しています。 (ピーク時：72台/時)
東口	・送迎車は、地下道入口付近や近接道路に停車し、最大5台程度が停車しています。(ピーク時：59台/時)

#### <一般送迎車の現状>



#### <乗降状況（西口）>



#### <乗降状況（東口）>



## (4) バス・タクシーの現状

### ●バス停の状況

コミュニティバスのバス乗り場が鯖江駅西口に2箇所あり、東口に1箇所設けられています。

西口のバス停にはバス停車帯が整備されていますが、東口には停車帯がなく、路肩での停車となっており、一般通行の支障となっています。

#### 【コミュニティバス運行状況】

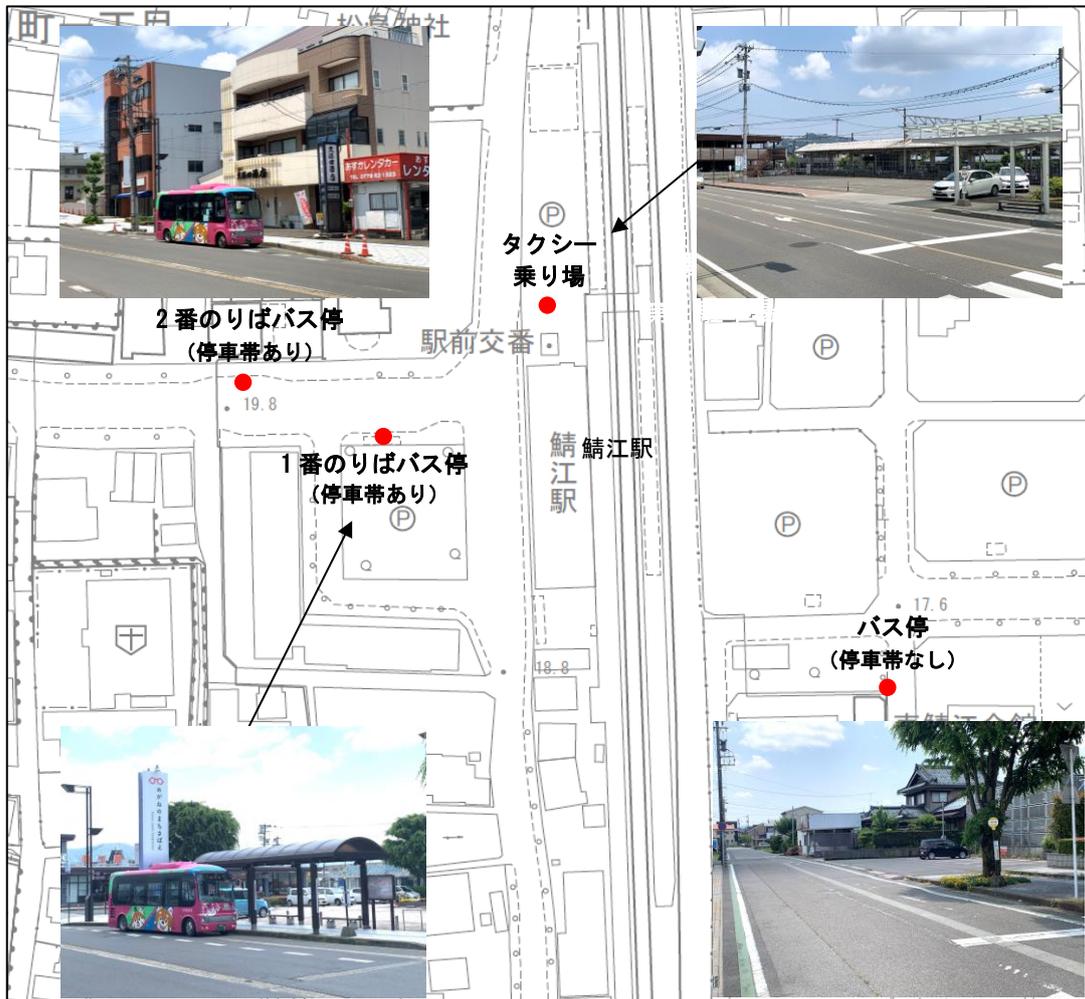
西口	西口1番のりば	4路線 21便
	西口2番のりば	4路線 24便
東口	東口のりば	1路線 4便

### ●タクシー乗り場の状況

タクシー乗り場は、駅舎北側にのみ1台分設けられており、約10台分の待機スペースが確保されています。

※タクシーの事業所は市内に2社あり、日中の稼働台数は約10台です。

#### <バス・タクシー乗り場の現状>



### 3. 鯖江駅周辺の課題

#### ●北陸新幹線福井・敦賀開業後の鯖江駅利用者の維持・増加

- ・北陸新幹線開業に伴い、県外から訪れる方々の鯖江駅の利用が減少することが予想され、観光・ビジネスなどの来訪者が、これまで以上に市の玄関口である鯖江駅を利用していただけよう「観光案内」および「ものづくり産地としてのPR」など、情報発信の強化が必要です。
- ・鯖江駅を起点とした「まちなか周遊観光」や「産業観光の促進」を図るため、観光バスやタクシー、レンタカー、カーシェアリングなどの二次交通の充実が必要です。

<RENEW>



<西山公園>



#### ●日常生活における鉄道利用者の利便性の向上

- ・通勤通学など日常生活において多くの市民の方が駅を利用しており、一般送迎やバス・タクシー乗り場の整備など交通結節点機能のほか、東口改札の新設などの利便性の向上が必要です。
- ・現駅舎は待合室が狭く、売店が小さいなど、鯖江の玄関口としては十分とは言えない状況です。また、学生やビジネス客が学習・交流できる場を提供するなど、駅の利用者に配慮した機能が必要です。

<朝の送迎交通（自家用車）の状況（左：西口、右：東口）>



#### ●鯖江駅を拠点としたまちづくりの推進、地域の活性化

- ・空洞化が進む中心市街地や商店街ににぎわいを創出するため、駅周辺からの人の流れを促進させる必要があります。

<まちなかイベント>



<誠市>



## 4. 整備の基本方針

### (1) 鯖江市が目指す将来像

# 笑顔があふれる「めがねのまちさばえ」

～人が集い・輝き・挑戦するまち～

#### ■持続可能な自治体運営への3つのアプローチ

産業振興

教育福祉

財政健全化

#### ■先導的・横断的な方針

鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる横断的取組みである5つの重点施策「持続可能な開発目標(SDGs)の推進」、「世界への挑戦と創造」、「みんな輝く市民活躍のまち」、「育てやすい暮らしやすいまち」、「ふるさと愛」を推進していく中で、今後、市が各施策を展開する際に、特に注力していくのは以下の2つの観点です。

#### ●育てやすい 暮らしやすいまちづくり

・子育てしやすく、全ての人が暮らしやすいまちづくりを推進します。

#### ●みんな輝く 市民活躍のまちづくり

・市民のパワー「市民力」が高まるよう、いきいきと活躍できる居場所づくりを推進します。

### (2) 駅周辺のまちづくり方針

#### 西口の役割

・由緒ある老舗が数多くあるまちなか商店街や鯖江藩の面影が残る風情あるまち並み、日本の歴史公園100選に選定された約5万株のつつじに彩られる西山公園などにつながる起点

#### 東口の役割

・メガネストリートを経由し本市の基幹産業である眼鏡産業のシンボリック的存在であるめがねミュージアムや、1500年の歴史がある越前漆器の産地うるしの里へとつながる産業観光の起点



鯖江駅を駅周辺の特色を最大限に活かすプラットホームとして位置づけ、まちなか観光や産業観光の情報発信を強化し、様々なひとが集まり交流する機会を創出し、笑顔があふれる「めがねのまちさばえ」を目指します。

### (3) 整備コンセプト

## まち・ひと・くらしを笑顔でつなぐ鯖江駅

「めがねのまちさばえ」にあふれる地域資源をつなぎ、鉄道を利用する鯖江市民、県内外から鯖江を訪れる方々をつなぎ、通勤・通学・買い物等の日々の暮らしをつなぐ、人が集い笑顔あふれるにぎわいのある空間の創出を目指します。

#### まちをつなぐ…

歴史公園 100 選「西山公園」や鯖江まちなか商店街などの中心市街地、めがねミュージアムやうるしの里会館、織維会館など「さばえの宝」だけでなく、丹南伝統産業の産地をつなぎます。

#### ひとをつなぐ…

公共交通の要の結節点、玄関口として、市民や県内外から観光やビジネスで鯖江を訪れる方々の移動・交流を支え、輝き集う人々の営みをつなぎます。

#### くらしをつなぐ…

市民はもちろん、鯖江で学び、お仕事をされる方々の通勤や通学、買い物等の日々の暮らしを支え、つなぎます。



### 《整備の基本的な方向性》

#### 【子育てしやすく快適に暮らせるまちづくりの創造】

近年の人口減少、少子高齢化社会が進むなか、公共交通を中心としたまちづくりを推進

- ⇒通勤通学、買い物などの日常生活における鉄道利用者の利便性の向上  
学生やビジネス客、子育て世代が駅を学習・交流の場として活用できる空間の提供
- ・東口改札の新設（自由通路の整備）
  - ・駅東広場の整備（鉄道とバス、タクシー、乗用車（送迎車含む）などの交通結節点の強化）
  - ・既存駅舎の活用（利用方法の見直し）
  - ・休憩施設（待合室、飲食店等）
  - ・その他（西口の一般乗降場の整備、駅舎前歩道拡幅等）

#### 【魅力あるまちづくりの創造】

鯖江駅は、市の玄関口、まちの顔としての役割を担う

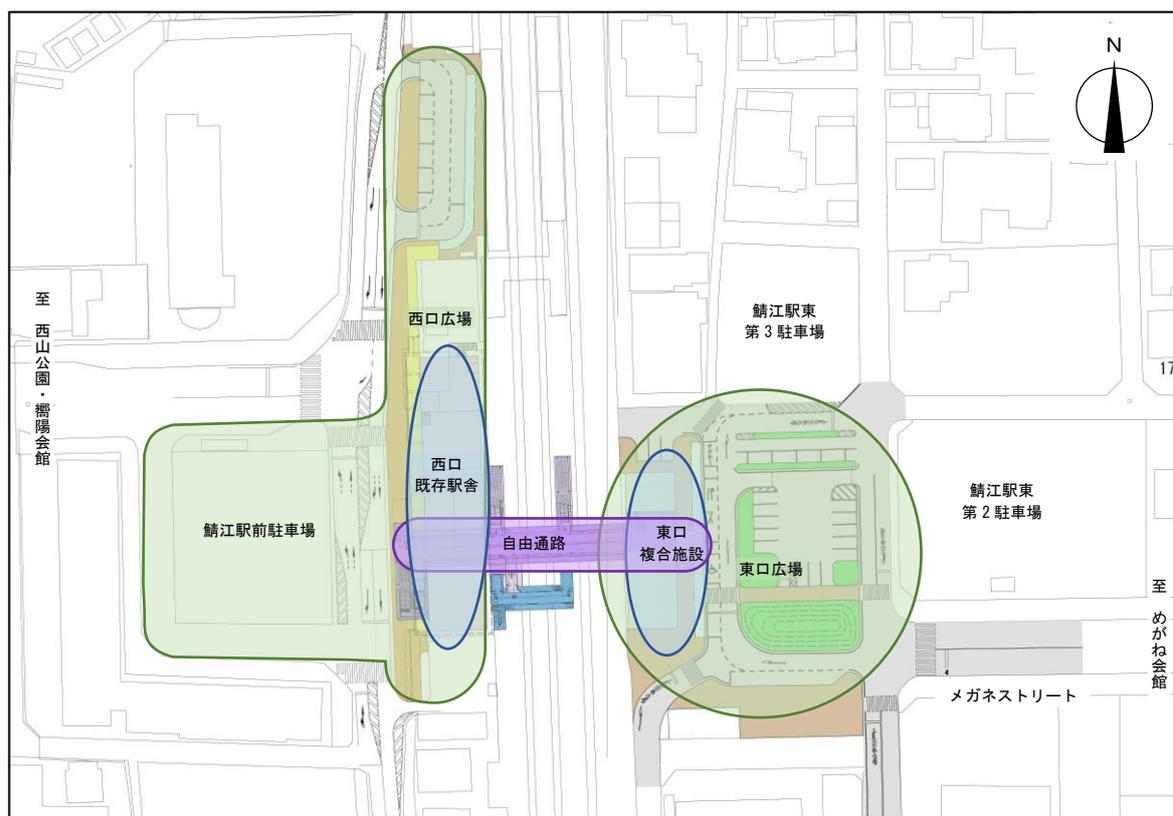
- ⇒駅周辺の活性化とにぎわい空間を創出するため、駅を拠点とした観光・産業の情報発信、ものづくり産地としてのPR、文化交流、イベント開催などを展開
- ・複合施設の整備（産業観光情報発信、展示・交流スペース、めがね・漆器の展示販売、お土産店等）
  - ・レンタサイクル（西山公園、めがねミュージアム、まちなか観光等）
  - ・各種イベント開催（ものづくり体験、めがねフェス等）

## 5. 駅周辺整備計画

### (1) 整備項目と基本的な整備方針

自由通路 (東口改札)	・ 駅東西のそれぞれの玄関口としての顔をつなぐことによる新たなまち・ひとのにぎわいの創出
東口複合施設	・ 眼鏡・漆器などの産業観光情報発信や広域交流の拠点および日常の通勤通学における快適な移動空間の創出
西口既存駅舎	・ 通勤通学の利便性向上や、中心市街地や西山公園等をつなぐにぎわいづくり・まちなか周遊観光の情報発信拠点としての機能強化
東口広場	・ 日常生活における駅利用者や県内外から訪れる方の利便性を向上するための交通結節点の強化
西口広場	・ 日常生活における駅利用者や県内外から訪れる方の利便性を向上するための安全安心な乗降スペース、駅前のゆとりある快適な歩行空間の確保

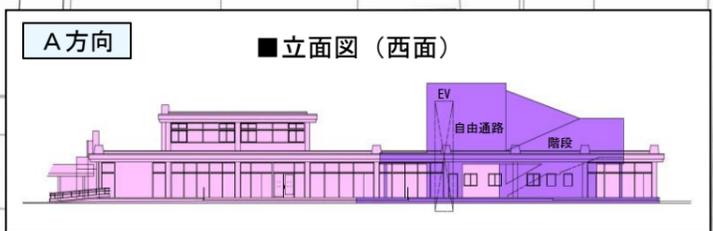
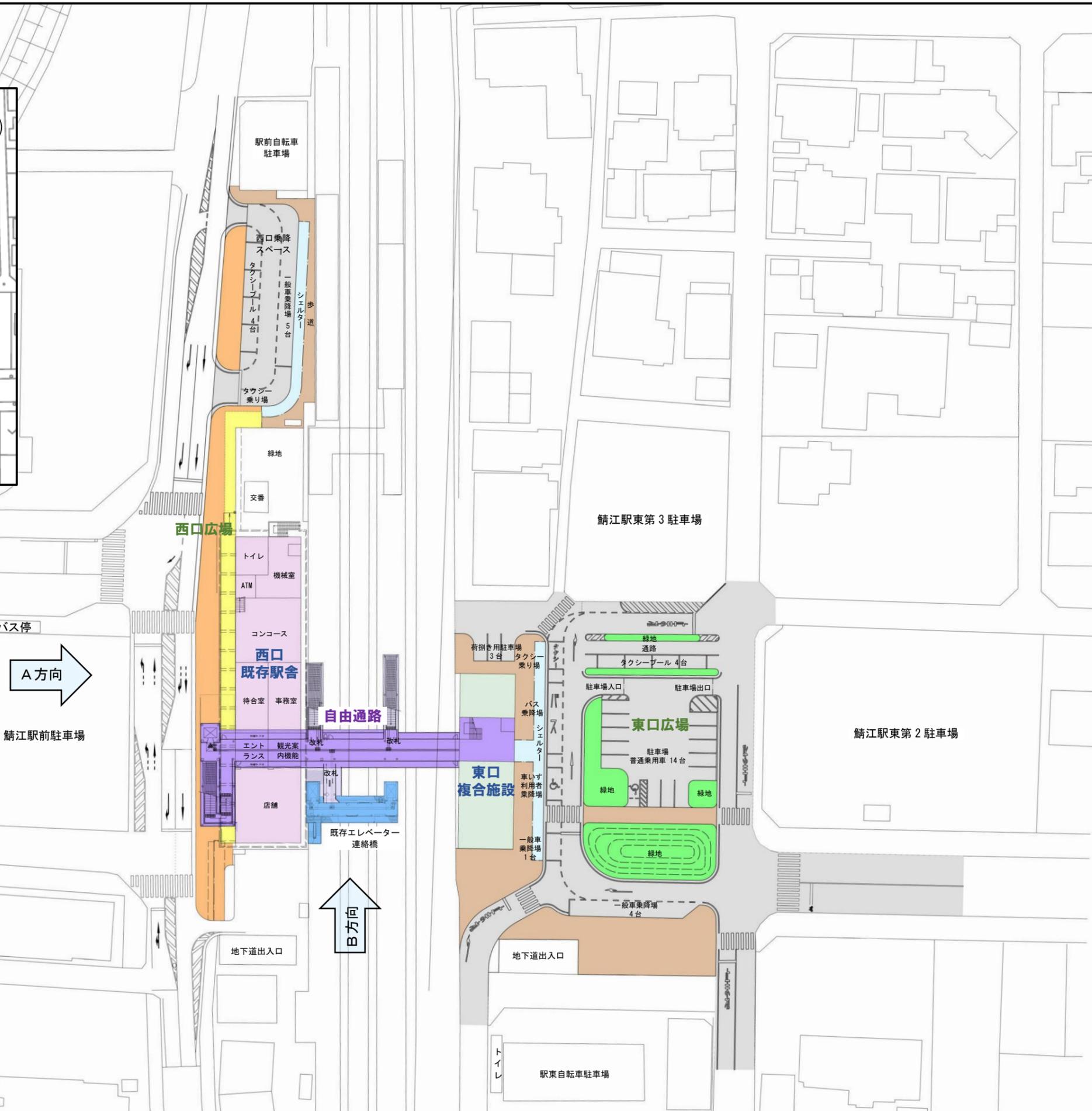
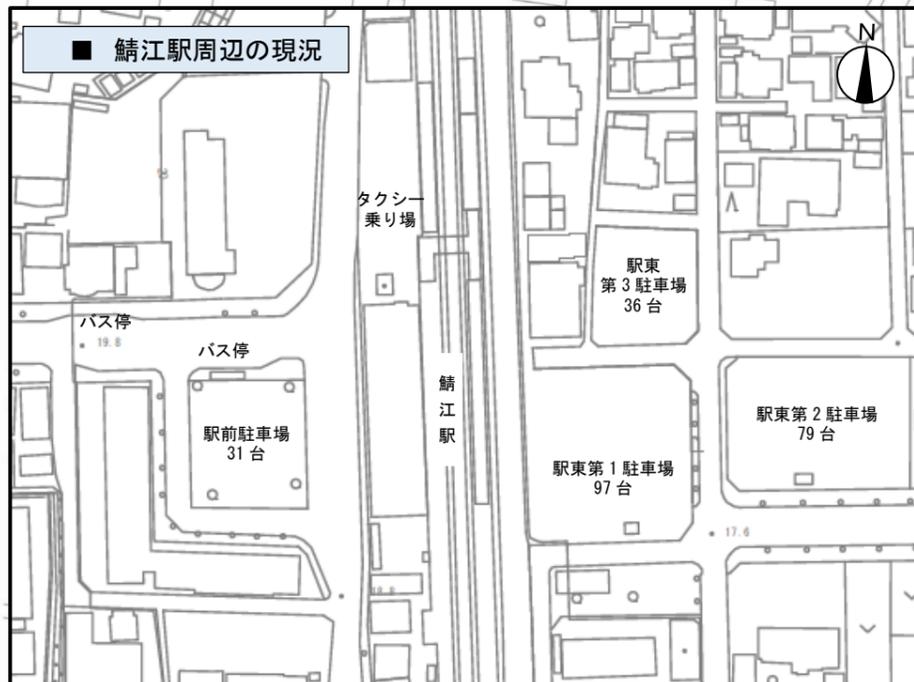
#### <施設レイアウト>



#### ※デザインコンセプト

今後、鯖江市の顔、玄関口としてふさわしい駅周辺整備となるよう、バリアフリーやユニバーサルデザイン、景観等に配慮した統一的なデザインコンセプトを設定しながら整備を進めます。

# (2) 全体整備計画図



### (3) 自由通路（東口改札）

#### 1) 整備方針

- ・ 東口改札の整備として、連絡橋を設置するにあたっては駅西側まで延伸し、駅東西のそれぞれの玄関口としての顔をつなぎ、新たなまち・ひとのにぎわいを創出する自由通路とします。

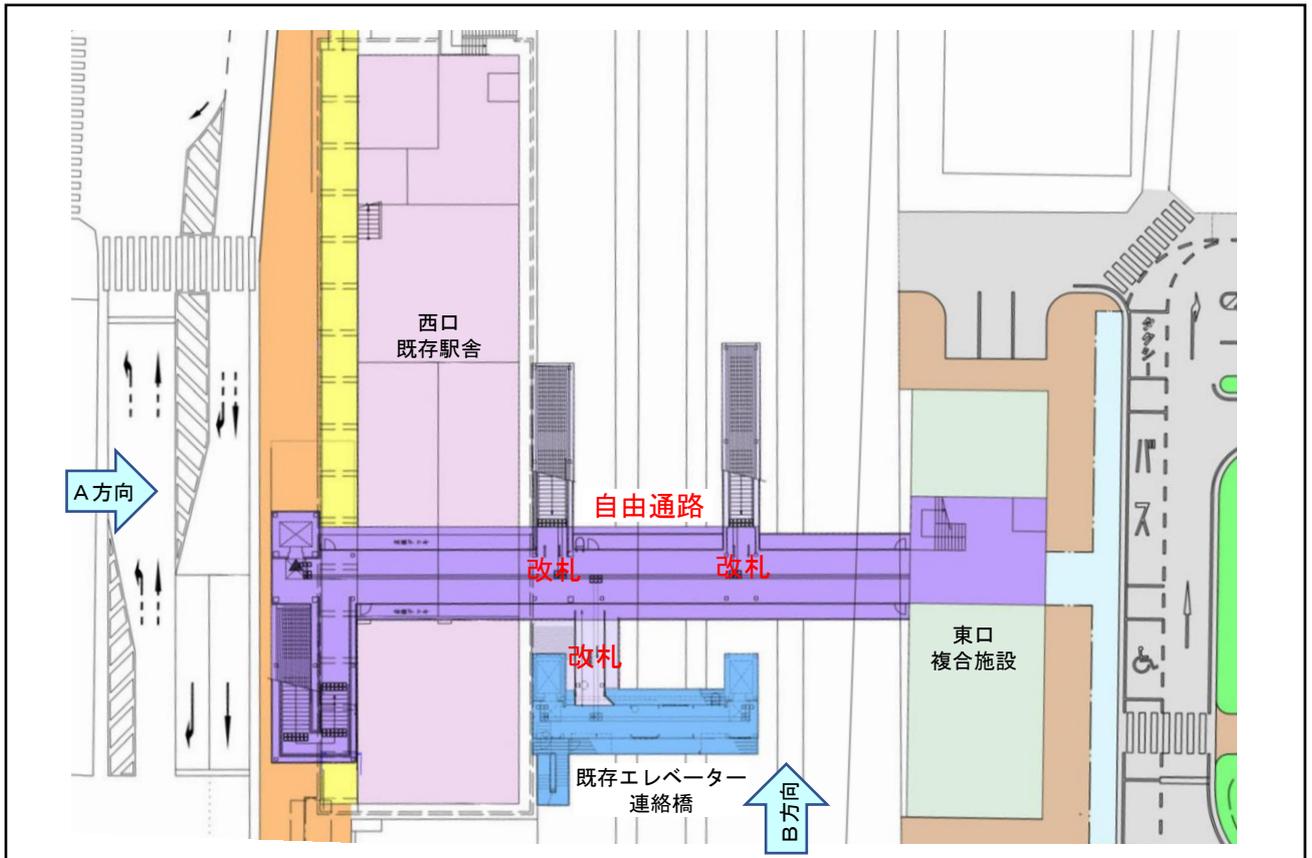
#### 2) 計画概要

- ・ 自由通路は、24時間東西を移動でき、エレベーターも利用可能とします。
- ・ 東口からの駅利用にも対応できるように、自由通路からホームへの階段を設置し改札口を設けます。併せて、既存のホーム内エレベーター連絡橋にも接続し、エレベーターを使用してのホームとの移動を可能とします。

#### [整備内容]

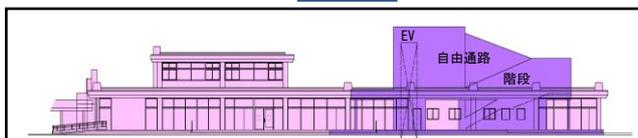
- ・ 幅 員 : 3 m
- ・ 延 長 : 58 m
- ・ エレベーター : 2 機
- ・ 改 札 : 3 箇所

#### <計画平面図>



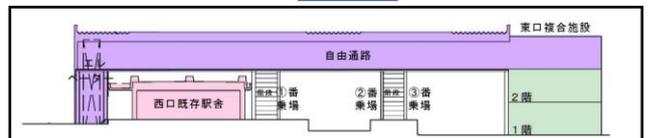
#### <立面図（西面）>

A方向



#### <立面図（南面）>

B方向



## (4) 東口複合施設

### 1) 整備方針

- ・ 駅利用者の利便性を向上させるとともに、眼鏡・漆器などの産業観光情報発信や広域交流の拠点および日常の通勤通学における快適な移動空間を創出します。
- ・ 自然エネルギー（太陽光）を活用した環境にやさしい施設を目指します。

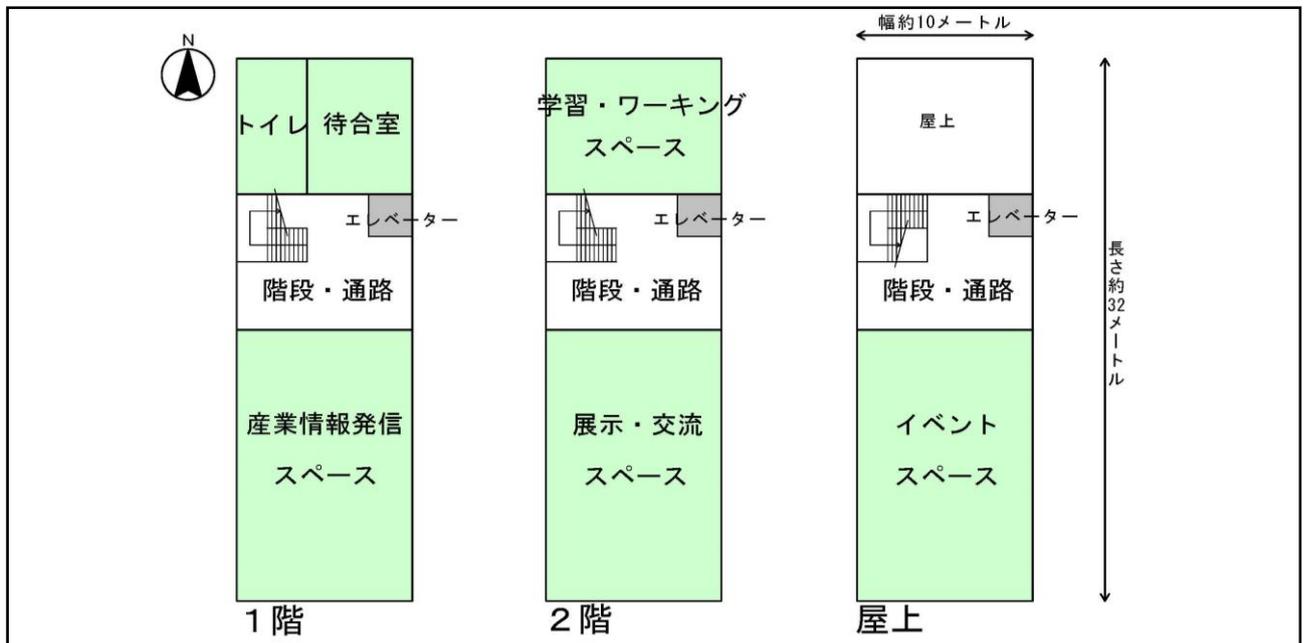
### 2) 計画概要

- ・ 自由通路に併設して複合施設を整備します。
- ・ 学生やビジネス客が利用しやすい施設とするため、施設内に学習・ワーキングスペースを設けます。
- ・ 眼鏡、漆器など、丹南地域のものづくり産業の観光情報を発信するスペースを設けます。
- ・ 屋上にイベントスペースを設けます。
- ・ 駅やタクシー、バス利用者のための待合室を設けます。

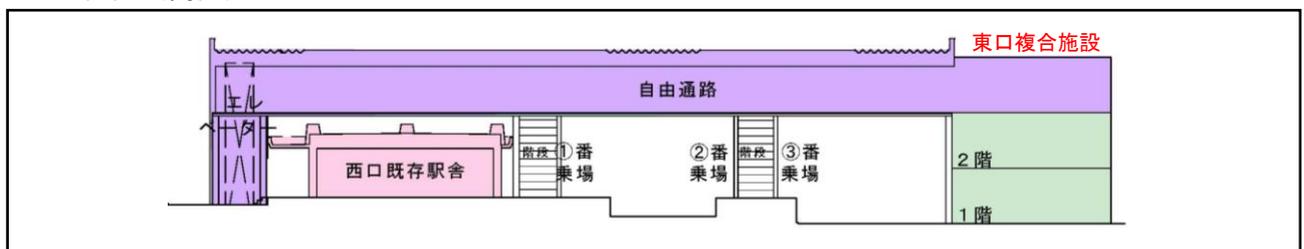
#### [整備内容]

- ・ 構造：2階建て
- ・ 延床面積：約800㎡の範囲内を想定 ※自由通路の一部を含む

#### <基本レイアウト>



#### <立面図（南面）>



## (5) 西口既存駅舎

### 1) 整備方針

- ・通勤通学、買い物などの日常生活における駅利用者の利便性の向上や、中心市街地や西山公園等をつなぐにぎわいづくり、まちなか周遊観光の情報発信拠点として機能を強化します。

### 2) 計画概要

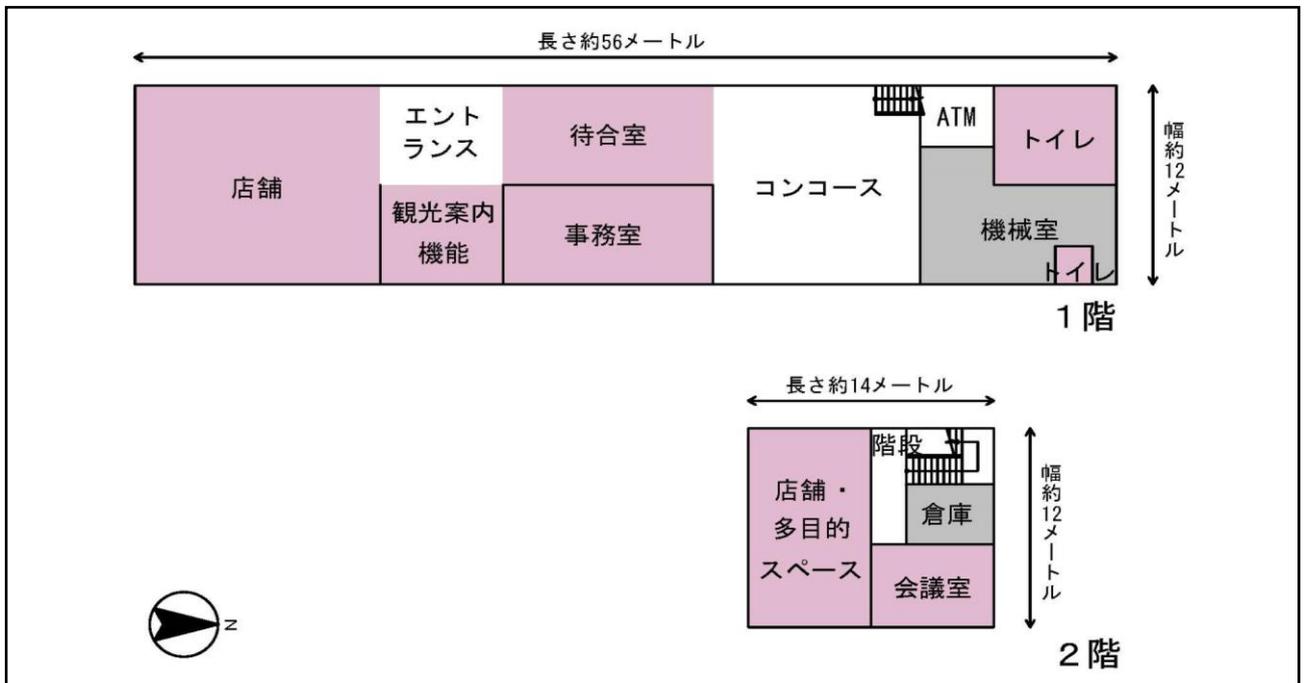
- ・東口複合施設の新設にあわせて、外部および内部の改修を行います。
- ・駅利用者の方々にまちなか周辺の情報発信を行うため、観光案内機能を設けます。
- ・各部屋に外部との出入口を設けることで、利用しやすい動線に配慮します。
- ・利用者に対してゆとりのある空間を創設するため、待合室を現況より拡大します。
- ・店舗は、駅利用者をはじめ駅周辺のホテル宿泊者等も利用しやすい内容・規模とします。

#### [整備内容]

- ・間仕切り、空調、内外装の改修

（ 構 造：鉄筋コンクリート造2階建て  
延床面積：約 840 m<sup>2</sup> ）

#### <基本レイアウト>



#### <立面図（南面）>



## (6) 東口広場

### 1) 整備方針

- ・通勤通学、買い物などの日常生活における駅利用者や県内外から観光・ビジネスで訪れる方の利便性向上を図るため、東口に交通広場を再整備し、交通結節点を強化します。

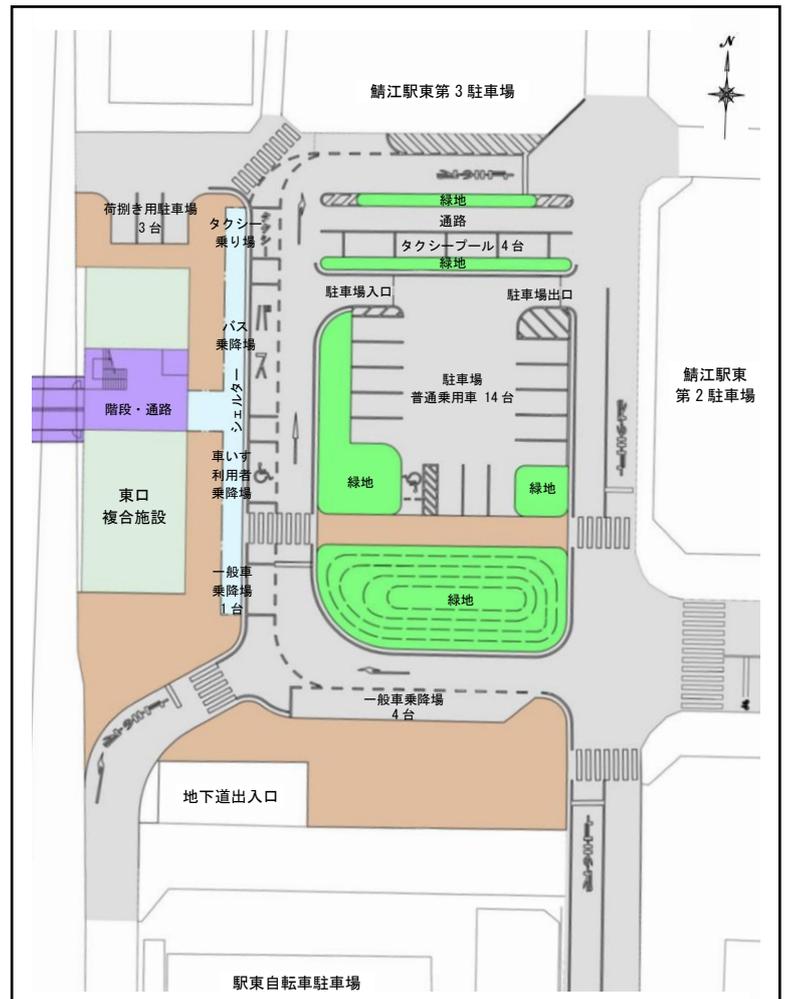
### 2) 計画概要

- ・バス乗降場、タクシー乗り場、車いす利用者乗降場、一般車乗降場を配置します。
- ・一般送迎者、複合施設利用者用の駐車場を整備します。  
(※料金体系については駅前駐車場(西口)と同様とします。)
- ・複合施設前に快適な歩行空間を確保できるようシェルターを設置します。
- ・広場内には緑地空間を設け、東口のシンボルとなるモニュメント等を設置します。
- ・冬季降雪に備え消雪施設を整備します。

#### [整備内容]

- ・交通広場 約 2,500 m<sup>2</sup>
- ・バス乗降場 1 台
- ・タクシー乗り場 1 台
- ・タクシープール 4 台
- ・一般車両乗降場 5 台
- ・車いす利用者乗降場 1 台
- ・駐車場 14 台  
(車いす用 1 台含む)
- ・シェルター 約 50 m
- ・緑地 約 410 m<sup>2</sup>
- ・消雪施設 1 式

#### <計画平面図>



#### <現況航空写真>



## (7) 西口広場

### 1) 整備方針

- ・通勤通学、買い物などの日常生活における駅利用者や県内外から観光・ビジネスで訪れる方の利便性向上を図るため、安全安心な乗降スペースを確保し、駅前にゆとりある快適な歩行空間を確保できるよう再整備します。

### 2) 計画概要

- ・駅舎前の歩道を拡幅し歩行空間の拡大と自由通路を整備します。
- ・駅舎北側に乗降スペースを整備し、一般車乗降場、タクシー乗り場を配置します。
- ・乗降場には快適な歩行空間を確保できるよう歩道とシェルターを設置します。
- ・冬季降雪に備え消雪施設を整備します。

#### [整備内容]

- ・駅前歩道拡幅 幅 2.35 m→4.35 m
- ・タクシー乗り場 2 台
- ・タクシープール 4 台
- ・一般車両乗降場 5 台
- ・新設歩道 約 50 m
- ・シェルター 約 40 m (幅 2m)

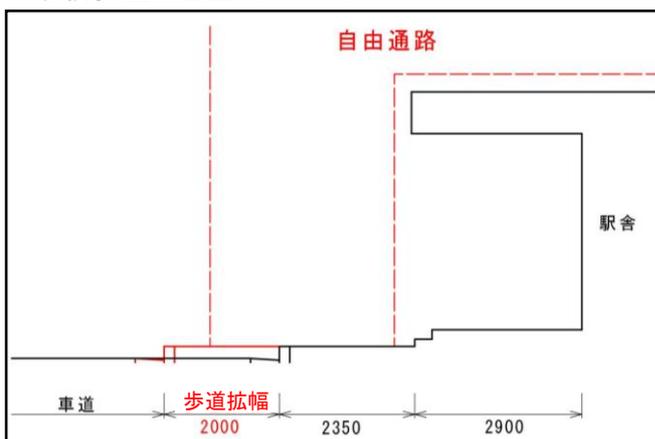
<新設乗降スペース>



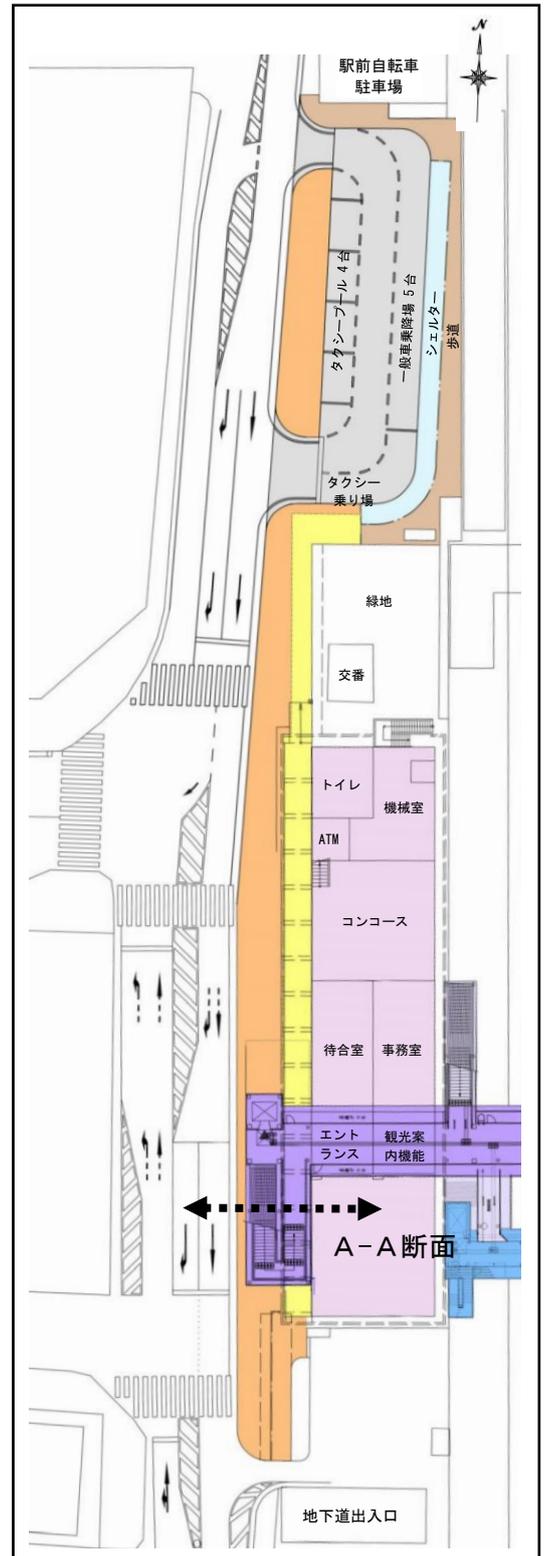
<現況駅舎前歩道>



<駅前歩道断面図 (A-A)>



<計画平面図>





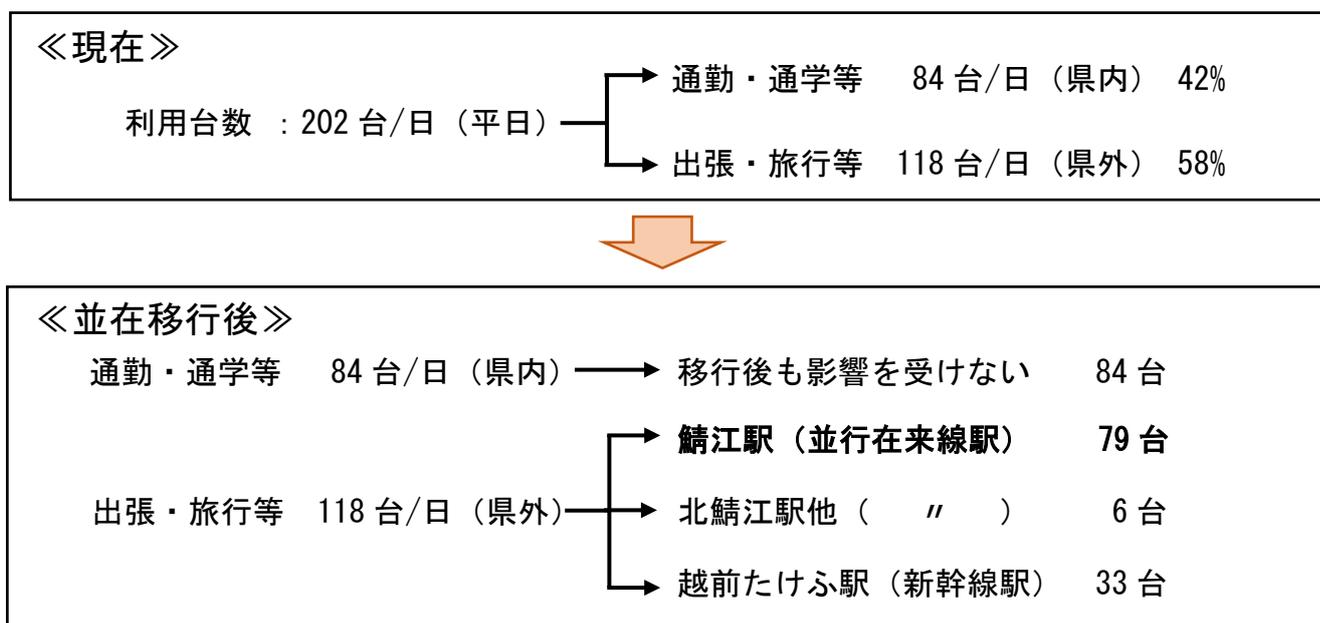
## 6. 整備後の東口駐車場の対応

### ●並行在来線移行後の駐車場需要

駐車場の需要については、日常的な通勤・通学、買い物などの県内移動による鉄道利用は、北陸新幹線開業の影響は受けないものと想定されますが、県外出張や旅行などの鉄道利用は、発着駅が「鯖江駅」と「越前たけふ駅」等に分散されることになります。

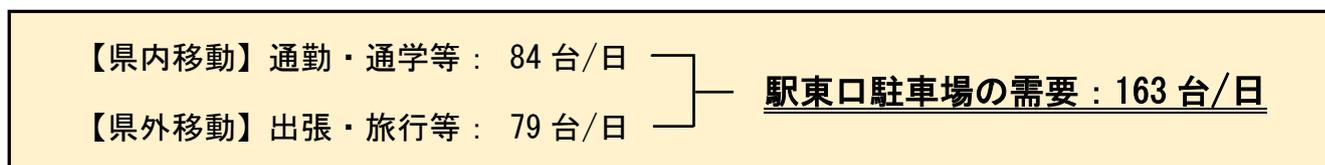
県外出張等の118台の各駅における駐車場利用台数については、市民アンケート調査結果等を踏まえて推計した結果、鯖江駅の利用台数は79台となります。

#### 【 駐車場利用台数の需要予測（駅利用目的別）】



#### 【予測結果】

東口駐車場の需要は、県内の通勤・通学等と県外の出張・旅行等の利用を合わせた163台と推計されます。



### ●東口駐車場の対応

現在、鯖江駅東口駐車場の利用台数は202台/日ですが、新幹線開業後の駐車場の需要は、通勤・通学利用での変化はないものの、県外出張や旅行などの利用者が一部「越前たけふ駅」に転換され、駐車台数は163台/日に減少することが推測されます。

東口広場の整備により、現在212台ある駐車場が115台に減少することから、不足する48台については、近隣民間駐車場と連携し、需要に応じ必要台数の確保に努めます。



## 7. 駅周辺整備で期待される効果

### ●鉄道利用者数の維持・増加

東口改札を設けることで、駅東側からアクセスする利用者の利便性が向上し、鉄道利用者数の維持・拡大につながることが期待されます。

### ●送迎での路上停車による乗降の解消

西口と東口それぞれに一般車乗降場を整備することで、道路上での危険な乗降が解消されることが期待されます。

### ●安全安心な歩行空間の確保

駅舎前歩道の拡幅や新設乗降スペースへの歩道新設、また東口広場整備により駅周辺における安全安心な歩行空間が確保されることが期待されます。

### ●丹南地域の産業観光の振興（観光客増）

駅から延びるメガネストリートを通じためがねミュージアムや河和田地区の越前漆器産地を始め、丹南地域の伝統工芸5産地（漆器、和紙、打ち刃物、焼、箆笥）との連携を強化することで、観光客の増加が期待されます。

### ●新たな二次交通の創出

観光バスやタクシーだけでなく、カーシェアリングやレンタカーなど新たな二次交通の創出が期待されます。

### ●駅を拠点とした交流人口の増加

めがね・繊維・漆器などの地場産業を活用した産業観光の推進や学習・ワーキングスペースなどの駅機能を充実させることで、県内外からの交流人口の増加が期待されます。

### ●まちなかのにぎわい創出

産業観光を中心とした観光客の増加や駅を拠点とした交流人口の増加、駅周辺でのイベント等の開催と周遊性を持たせたまちなか周遊観光を推進することで人流が生まれ、まちなかのにぎわいの創出が期待されます。



## 8. まちづくりの将来展望

鯖江市の「顔」として整備する鯖江駅は、鉄道利用者にとどまらず、県内外からの人々が集まる場所としての機能を高めることで、駅周辺に新たな店舗や事業所などが充実し、相乗効果によって周辺地域への宅地需要が増加し、まちなかの活性化につながっていくものと期待します。

特に、東口周辺については、現在、「めがねのまち」として都市ブランド力を高めてきたことで「鯖江」の認知度は高まり、駅からメガネミュージアムまでのメガネストリーートの沿道利用が進み、にぎわいの創出につながっています。東口周辺のポテンシャルを更に利用し、笑顔あふれる「めがねのまちさばえ」のまちづくりにつなげていきます。



## 9. 計画の推進に向けて

### ● 『まち・ひと・くらしを笑顔でつなぐ鯖江駅』をテーマにしたソフト事業の展開

- ・ 地元商店街や市民団体と連携し、「歴史」・「文化」・「食」などの地域資源を活かしたイベントの開催や「まちなか周遊観光」の充実に取り組みます。
- ・ 市内最大の観光施設である西山公園の更なる魅力向上に努めます。
- ・ オープンファクトリーなど新しい視点での産業観光の推進に取り組みます。
- ・ メガネストリーートの充実や丹南地域のものづくり情報の発信により産業観光のハブ施設としての機能強化を図ります。
- ・ 鯖江ならではの市民力を生かしたおもてなしで、お客様をお迎えし、観光客の再来訪を促します。
- ・ 駅周辺施設を利用し、市民や利用者が楽しめるイベントを企画します。



## 10. 整備スケジュール

- ・ 駅周辺整備については、北陸新幹線福井・敦賀開業までに必要な調査・設計等を実施し、令和6年度に着手することを目指すものとします。
- ・ 基本計画策定後、基本設計を行い、各施設の規模・整備内容を踏まえ、工事工程を検討し、計画全体のスケジュールを設定するものとします。

今回の資料で示した基本計画図等については、今後、関係機関との協議・調整を行い詳細な設計を行うこととなりますので、確定したものではありません。